

小別沢新聞

9

September 2021

#008

TAKE FREE

発行：札幌市農政部
(TEL 211-2406)
編集：NPOあおいとり
(TEL 664-5148)
デザイン：3KG
(TEL 300-3333)

郵送による定期購読を希望される方は、札幌市農政部までご連絡ください。

里山活性化推進事業と 森林整備

後編

前編に引き続き、道内で森林整備の普及啓発に取り組んでいる栗田健さんと札幌市農政部の石堂係長に、小別沢で

今秋から始まる予定の森林整備について話していただいた内容をお伝えします。

——小別沢の特性にあった森林整備の形とは



栗田…比較的急斜面なので、森林作業道を開設する際に切る木が少なく済む、小規模林業が向いていると感じていました。混んでいる場所については、1度に2割くらいの本数を切っても雰囲気は変わらないと思いますし、林内に光を入れるためにはもう少し切っても良いと思います。

石堂…山菜やキノコと同じ意識で、森の成長量や回復力に合わせて木を切って利用させてもらおう、という意識が大切だと感じます。



栗田…森に感心のある人は確実に増えて来ていると思います。田舎でも林業は身近ではなくて、総合学習で初めて木を切る場面を見る子供もいます。札幌だとさらにそういう機会は少ないでしょうね。今回、林業者が作業道をつくることで森に行きやすくなると思いますので、そういう文化をもう1度見えるようにしていく意味はあると思います。

てくるかもしれないね。
石堂…農業で地産地消や食育というように、林業にも地材地消や木育という言葉がある。どうやって木が育ち、切ったり加工され、身の回りの製品になっていくかを学べる場が必要。街に近く、コンパクトな空間である小別沢は、市民が気軽に農と林を体験・学習できる唯一無二の場になれるのではないかと考えています。里山という言葉を使わずに、教育的役割を担うことは、小別沢地域の価値の向上やサポーターの増加、豊かな自然の保全にも繋がるのではないのでしょうか。



栗田健 くりた・けん

神奈川県出身、北海道の大学に進学。道庁職員として長年北海道の林業に関わり、現在は(株)GIS北海道に勤めながら、森林総合監理士として各地で森林整備の必要性の普及啓発、林務業務の支援等を行なう。自身でも滝上町に森林を所有する。





小別沢のあのヒトこのヒト

小日向素子さん

— 経歴を教えてください

生まれも育ちも東京で、15年ほど会社員をしていましたが、だんだん自分がロボットのようを感じはじめました。自分に自信がなくなっていた時にリーマンショックを経験、このままではダメになると思い退職。その後、発展途上国を中心に世界各国を巡り、自分らしさを取り戻します。その経験を過去の自分と同じように悩んでいる人に提供したいと思い帰国。ブックラウンジ経営や、高齢化地域でのまち



おこしの過程で馬と出逢います。馬を通じた大人向けの研修プログラム開発のため、欧米でセラピーと人材育成メソッドを学び、独自のプログラムへと発展させ、埼玉県の牧場でトライアル営業を始め、日経ビジネス

に連載をしていました。この連載がきっかけで当時小別沢で牧場を経営していたステイブンスンさんから連絡をもらい、2017年に牧場と馬を引き継ぎました。

— どんなことをされているのですか

馬を先生とした学びの場を提供しています。現在の柱は3つ。1つ目は、アカデミックな

リーダー研修を行う「ホース

コーチング」。2つ目は、五感

とコミュニケーションを学ぶ

「ホースソマティック」。3つ目

は先月からスタートしたばかりの「コミュニティホース」と

いう馬の共同オーナー制度で、

月11,000円の会費をいた

だくことで牧場を維持し、地域

の子供たちに、馬と触れ合い

ながら学ぶプログラムを提供

するものです。

— 馬が先生、もう少し詳しく

教えてください

馬とは使役やスポーツとしての

関わり方が一般的ですが、私た

ちにとっては学びの先生。馬の

特性を使わせてもらいます。例

えば、馬にはミラー細胞という

ものが多く、人の内面を映し出

す鏡のように反応を返します。

また、あらゆる個性を受け入れ

る群れ組織で、馬同士、細やかな

な身体反応を通じてコミュニ

ケーションを行います。そのよ

うな馬から、他者との関係性や

非言語コミュニケーションを学

ぶことができます。さらに、体

が大きく力が強い馬と対峙する

ことで、自然の偉大さを改めて

思い起こすことにも繋がります。

競馬や乗馬に適さない馬に存在

価値はないのか、経済価値や能

力だけで社会での存在意味を見

出していないか、そんなことに

思いを馳せる場にもしたいと

思っています。

— 小別沢とこれからどう関

わっていきたいですか

小別沢は大都市の裏にあつて、

人と動物の境界のような場所。

通常、牧場がある場所は自然寄

りか人間寄りかのどちらかにな

りがちだけど、ここはそのバラ

ンスがちょうど良いと感じてい

ます。今後はコミュニティホー

スの取り組みを広げながら、牧

場内だけではなく、周囲の森林

や畑、地域全体と絡んでいきたく

いというのが希望です。



株式会社 COAS
ピリカの丘牧場

詳細はHPをご確認ください
<https://www.coashp.com/>

里山事業の
スケジュール

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小別沢新聞		第7号		第8号 (この号)		第9号		第10号		第11号	
小別茶話会				第3回 8月13日金		延期 → 第3回		第4回		第5回	
森林整備 森林経営管理法			市と山主の契約			林業者の 公募に向けた準備			秋以降 市と林業者の契約		



むかしと いまの 小別沢 #2

「しばかり」って何か知っていますか。山に生える小さな雑木や小枝のことを柴といい、里山での人の

営みと柴刈りは共にありました。この物語は、小別沢の暮らしにも溶け込んでいた柴のお話です。

鎌田愛 かまだ・あい
札幌に生まれ育ち、現在は養護教諭として小学校に勤め、みんなが親しめるイラストを用いた保健だよりを作成するなど、保健室で日々奮闘中。夢は、いつか家族のコミックエッセイを出版すること。

小別沢直売所 MAP

小別沢に点在する直売所のマップ。新鮮な旬の野菜が並びます。ぜひはしごしてみてください！

↑ 至 円山

JRバス 福井8丁目

海陽町

田中農園 野菜

漆崎農園 野菜

谷口めぐみ農園 野菜

伊部農園 野菜

小別沢会館

さくら農園 野菜

かわいふあ〜む 野菜
かわいふあ〜む yasaibacca

アグリスケープ 卵 惣菜
www.agriscap.jp

黄色い看板

自然歩道

小別沢トンネル

札幌御嶽神社

海陽町

第③回 小別茶話会

第3回小別茶話会の開催については改めて連絡いたします

市からのお知らせ

*町内会以外の方で初めて参加を希望される方は準備の都合上、事前に左記担当者までご連絡ください。

札幌市農政課 松里・石堂
☎211-2406

